

【2025年度 康心会汐見台病院における看護職の負担軽減及び処遇改善計画】

<p>【目的】</p> <p>看護職員の負担を軽減し、効率的で質の高い医療サービスの提供、患者中心の看護が提供できるように、多職種との役割分担を明確にする。</p> <p>【目標】</p> <p>1.看護職員と多職種との業務分担を改善し、協力・連携体制を強化・構築する。</p> <p>2.看護補助者などの教育体制を見直し、患者に係る医療知識の向上とスキルアップを図る。</p> <p>3.業務の標準化・効率化による業務量削減による時間外労働の削減。</p>				
＜取り組み項目＞	＜方 針＞	＜具体的な取り組み＞	＜達成度＞	＜達成度評価＞
1.診療部門	<p>(1) 業務の効率化の推進(継続)</p> <p>①時間内に業務が終了できるように、オーダーや医師指示など時間設定し、看護師の時間外削減</p>	<p>(1) ①入院患者の定期処方徹底 (各病棟のきめられた曜日の前々日16時まで)に処方)</p> <p>②翌日の点滴オーダー締め切り時間 15時</p> <p>③退院指示は前日の15時まで</p>		
1.看護部門	<p>(1) 看護補助者の業務規定に沿った業務の実施(継続)</p> <p>①看護師の指示のもとでの業務</p> <p>(2) 看護補助者の業務を安全に行う教育・研修の実施</p> <p>①教育ラダーを作成し、研修評価を実施する</p>	<p>(1) ①看護補助の業務規定に沿った業務を実践し、看護師の負担軽減</p> <p>②看護補助者の業務内容と業務範囲の見直しと評価</p> <p>(1) 看護補助者研修の実施(継続)</p> <p>(技術研修、感染対策、医療安全、看護補助者の業務)</p>		
2.薬剤部門	<p>(1) 薬剤師の専門性を活かした業務分担(継続)</p> <p>(2) 血液内科における化学療法実施のためのシステム構築</p>	<p>(1) ①持参薬の鑑別</p> <p>②病棟患者の服薬指導(退院処方の服薬指導も含む)</p> <p>③血液内科における化学療法実施のためのシステム構築</p> <p>④多職種カンファレンスに参加し、患者情報の共有し薬剤指導につなげる</p> <p>⑤手術や検査などの中止薬の確認</p>		
3.リハビリ部門	<p>(1) 多職種によるADLサポート</p> <p>①専門性を活かした病棟リハビリの実施</p> <p>②退院後の生活を見据えた介入の実施</p>	<p>(1) ①早期にできるADLを取り入れ、できることを増やす。</p> <p>②更衣・歩行・食事・口腔ケア・トイレ誘導を中心に実施</p> <p>③朝の起床時から夕食後までを在宅生活を考えたリハビリの提供</p> <p>④病棟スタッフとのカンファレンスで患者情報を共有</p> <p>⑤認知症や高次脳機能障害患者の抑制削減にむけて介入</p> <p>③ベッド周辺環境の提案、安静度の向上</p> <p>④QOLに対応した対策の提案</p>		
4.ME部門	<p>(1) MEスタッフの専門性を活かした業務分担</p> <p>①透析室における看護師との連携推進</p>	<p>(1) ①透析室において、看護師とチームを組み、ケアにあたる</p> <p>②医療機器の取り扱いについての勉強会の実施</p> <p>呼吸器</p>		
5.検査部門	<p>(1) 検査科での可能な業務についての整理、実施</p>	<p>(1) ①化学療法患者の採血時に体重測定</p>		
6.管理部門	<p>(1) 働きやすい職場環境の構築のため、勤務時間への希望に柔軟に対応する。(継続)</p> <p>(2) 夜勤負担軽減(継続)</p>	<p>(1) ①育児・介護等の理由での時短勤務希望者に対して個々の事情に応じた勤務時間を提案し、離職防止に努める</p> <p>②妊娠・育児などの理由で、必要時他部署への配置転換を検討。</p> <p>(2) ①必要スタッフの夜勤免除、夜勤職員の採用</p> <p>②連続夜勤は2回までと上限を設定</p> <p>③11時間以上の勤務インターバルの確保</p> <p>④夜勤後の休日の確保、夜勤中の休憩時間の確保</p>		

達成度の評価 A:達成された B:部分的に達成 C:継続的に取り組み中 D:未達成